

計量装置の乗率について

一般的なご家庭に取付している計量装置は、使用される電圧、電流を直接計量するものですが、工場などの比較的規模の大きいお客さまは高電圧、大電流であり直接計量できないため

- ・計器用変成器（変流器）を用い110V、5Aに変換（変成）する。
- ・組み合わせる計量器の指示値に電圧比、電流比を各々乗じて実際の使用電力量を算出する。

具体的な例として、高圧で50Aの計器用変成器を用いた場合は

- ・電圧を6600Vを110Vに変圧（×60）
- ・電流を50Aを5Aに変流（×10）

しているのので、計量した使用量に $60 \times 10 = 600$ 倍した値が実際に使用された電力量となります。

計器用変成器と計器の組合せ誤り事象例

50Aの計器用変成器で50A用計量器を取り付けるべきところを、20A用計量器（20Aを5Aに変成する計量器）を取り付けた場合、下図の通り、計器用変成器では1/600倍になっているため、正しくは600倍すべきところを、20Aの場合は240倍となり、表示は2/5倍に誤ってしまう。

